

大岡川おさかなタウンプロジェクト始動!

河口付近にはヘドロが堆積!

昨年の12月上旬に行なわれた運河勉強会で、NPO法人濱橋会と株式会社オオスミとの協働による『大岡川の水質と河口付近のヘドロ調査』の結果が発表されました。

河口付近の川底には、ヘドロが堆積して、大岡川の水質にも影響を与えていることが判明しました。ヘドロはそもそもプランクトンの死骸や有機物の溜まったもの。これが腐敗する際に水中から大量の酸素を消費し、生き物たちが必要とする酸素を奪うほか、水中の微生物によってこのヘドロが分解される過程でメタンガスなどを

発生させ、環境を悪化させます。

しかし、ヘドロの原料であるプランクトンの死骸や沈殿した有機物などを食べて暮らす生き物もいます。エビやカニ、ナマコなどです。

つまり、大岡川河口付近の川底に水中生物がもっとたくさん存在すれば、ヘドロとして川底に溜まることも防げるはずなんです。

不法投棄自転車が人工魚礁の役割?

今年も大岡川に不法投棄された自転車を引き上げる予定ですが、昨年、当NPOで川に潜り調査したところ、自転車には



小さな生態系ができています。大岡川に沈む自転車。撮影:豊田直之

時間経過とともに藻やカキなどが付着して、そこには小さなエビやカニ、幼魚などが住みつき、ひとつの小さな生態系ができあがっていました。

その自転車を引き上げることで、せっかくの生態系を壊してしまう。そんな環境保全のジレンマを解消すべく、自転車を引き上げたあとの大岡川をおさかなタウンにするプロジェクトを立ち上げます。

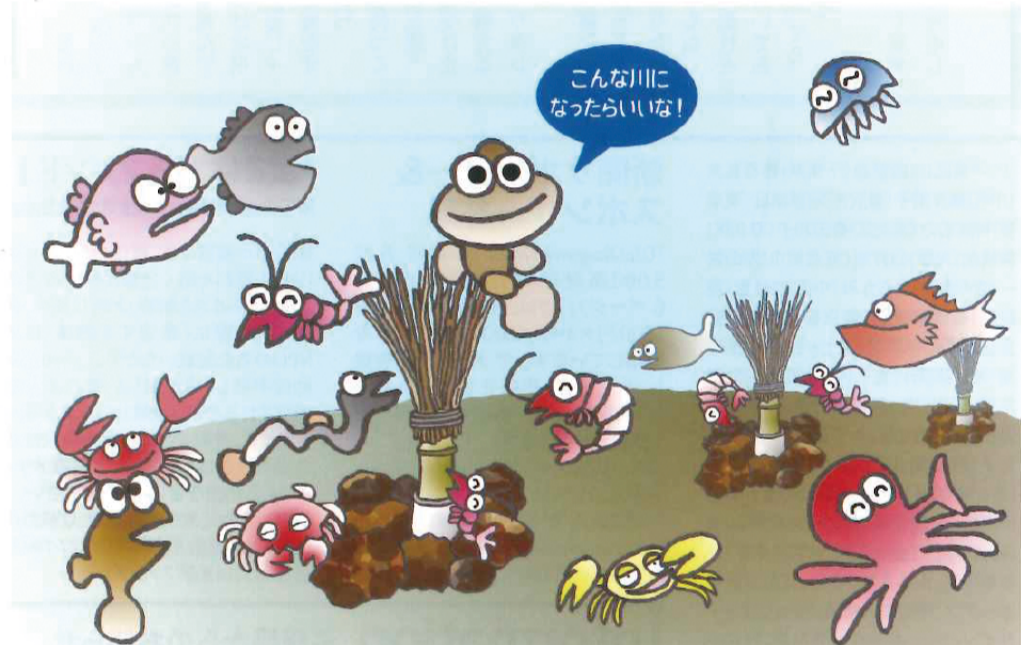


イラスト:豊田直之

茅ヶ崎沖の海底にプラゴミの溜まり場

当NPO恒例のダイバーによる海底清掃を行ないました。神奈川県内最大河川である相模川の河口付近のゴミの調査も兼ねています。11月実施の予定が、悪天候のため、12月10日に延期しての実施となりました。

今回は、湘南海岸のシンボルである「烏帽子岩」近くの海底を調査しました。

茅ヶ崎海岸からは、およそ1.5kmも離れており、水深も平均20mと深場であることもあり、たいしたゴミはないだろうという潜水前の大方の予想に反し、海底にプラスチックゴミの溜まり場を見つけたり、ヤギという団扇状のサンゴの仲間にプラスチックゴミがたくさん引っかかっていて、波のうねりの抵抗に耐えられず折れてしまっているのを発見したりしました。

海のゴミはその7割が河川からの流出と考えられ、このエ



茅ヶ崎沖海底にある、川から流出したプラスチックゴミの溜まり場。撮影:豊田直之

リアに溜まっていることは、相当量のプラスチックゴミが相模川から海の中にすでに流出してしまっていることを意味します。

さらにメンバーを募り、今年も再調査することとなりました。



総重量8.6kg。再調査を行なうこととなりました。



夜になると現れるムササビ。樹の上からじっとこちらをうかがう。撮影:豊田直之

息をのむような美しい景色の連続。

11月初旬の快く空の晴れ上がった小春日和の日曜日。神奈川県もみ・みず市民事業補助金事業の一環として、源流丹沢ハイクを行なった。

神奈川県西部にある丹沢は日本百名山の一つ。最高峰の蛭ヶ岳(ひるがだけ)を中心に広がる山塊の名称で、年間を通して素晴らしい自然が広がる場所。

紅葉のベストシーズンの10月中旬から11月中旬にかけては、頂上から麓に紅葉が降りて来るイメージで山が色づく。この日は、麓の紅葉も真っ赤に燃え、写真を撮ったり、

押し葉にしたりしながら川沿いを歩いた。

数日前の大雨の影響か、水かさが増し橋が流され、川を渡るのに苦心したが、結局、皆で靴を脱ぎ、冬に向かう冷たい水の流れを歓声をあげながら渡った。

冷えきった身体は、このところ人気で恒例となった温泉で温めてから帰路についた。

丹沢の魅力は、まず、登山ルートが沢山あり、参加者の体力や天候次第でルートを選択できる点。それから、植生の豊かさや源流の水の美しさだろう。

期待以上に色づいた丹沢の山を歩いた。秋の源流域探索ツアー

この日も、山頂には行かなかったが、紅葉の山々を眺め、秋の源流域を存分に堪能した。



昨年最後の源流域探索ツアー。それぞれの秋を堪能した。

「PGT (Pプラスチック Gゴミ T獲ったお)大作戦」とうとう吸い殻 1万本超えた!



12月開催の際、SUP班にはサンタコスプレで臨んだメンバーも。

上の駐車エリアでクルマの中の吸い殻入れを空けて行くドライバーなども見られ、またこのエリアでのペットボトルやレジ袋などのプラス

10月、11月、12月と順調に日ノ出町・黄金町エリア、井土ヶ谷エリア、どちらのエリアともゴミ拾いは実施できました。ただ、12月9日の日ノ出町・黄金町エリアでは、今までの一日最高約7,500本という拾った吸い殻の数をはるかに超える、11,200本という不名誉な新記録を樹立してしまいました。路

チックゴミの量は減る兆候が見られません。行政などと連携を強めて、なにか抜本的な対策を立てて行く必要があります。

●日ノ出町黄金町エリア

10月21日(土)
回収ゴミ重量44.462kg
(うち、たばこ吸い殻882本)

11月18日(土)

回収ゴミ重量33.922kg
(うち、たばこ吸い殻842本)

12月9日(土)

回収ゴミ重量95.520kg
(うち、たばこ吸い殻 11,200本)

●井土ヶ谷エリア

10月7日(土)

回収ゴミ重量7.117kg
(うち、たばこ吸い殻470本)

11月4日(土)

回収ゴミ重量12.042kg
(うち、たばこ吸い殻674本)

12月2日(土)

回収ゴミ重量7.322kg
(うち、たばこ吸い殻202本)



井土ヶ谷エリアは、グリーンボード横浜南との協働で実施した。



吉田興産グループ
横浜市中区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

横濱の老舗



勝烈庵



株式会社 **大貫カメラ**
TEL 045-231-0306
〒231-0065 横浜市中区富川町2-47 大貫ビル1F
<http://www.camera-ohnuki.com>

天麩羅・肴

登良屋

横浜市中区吉田町2-3
045-251-2271

おかげさまで創立70周年

三好商会グループ

(株)三好商会 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3440
旭企業(株) 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3520
三好環境(株) 川崎市川崎区東田町8 044-221-1602